

2005年10月4日

報道機関各位

大日本住友製薬株式会社
千寿製薬株式会社

イヌ用ニューキノロン系抗菌点眼剤「ロメワン®」
新発売のお知らせ

大日本住友製薬株式会社（本社：大阪市、社長：宮武 健次郎）と千寿製薬株式会社（本社：大阪市、社長：吉田 祥二）は、千寿製薬が製造する動物用医薬品「ロメワン®」を、大日本住友製薬が10月5日に新発売しますので、お知らせいたします。

「ロメワン®」（提携：アボット ジャパン(株)）は、日本で初めてのイヌ用のニューキノロン系抗菌点眼剤です。本剤は、塩酸ロメフロキサシンを有効成分とする、イヌの眼科領域感染症治療剤であり、イヌの細菌性結膜炎、角膜炎、眼瞼炎および麦粒腫に効果が認められます。千寿製薬が2005年8月19日付けで農林水産省の製造販売承認を取得しました。

「ロメワン®」の特長は以下のとおりです。

1. イヌの眼科領域感染症の主な原因菌種である、Staphylococcus intermedius（ブドウ球菌属）、Streptococcus canis（レンサ球菌属）、Pseudomonas aeruginosa（シュードモナス属：緑膿菌）による感染症に有効である。
2. 良好な眼組織への移行性と結膜嚢内での滞留性を示す。（ウサギ）
3. イヌの細菌性結膜炎、角膜炎、眼瞼炎および麦粒腫に対する臨床有効率（有効以上）は85.8%（91例／106例）である。また、臨床試験において副作用は認められなかった（総症例146例）。

これまで、大日本住友製薬は千寿製薬が製造する眼科用剤「パピテイン®」（イヌ・ネコ角膜障害治療剤）、「ライトクリーン®」（イヌ老年性初発白内障進行防止剤）および「ティアローズ®」（非ステロイド性抗炎症点眼剤）の3製品を販売してきましたが、この度の「ロメワン®」を眼科用剤の中核と位置づけ、動物の眼科治療に大きく貢献していく所存です。

大日本住友製薬では、初年度（半期）約1億円の売上を見込んでいます。

以上

本件に関するお問合せ先

大日本住友製薬株式会社 広報部

〒541-0045 大阪府中央区道修町 2-6-8

TEL 06-6203-1407（大阪）

TEL 03-5159-2505（東京）

千寿製薬株式会社 事業開発部 岸本

〒541-0046 大阪府中央区平野町 2-4-9

TEL 06-6226-1771

(ご参考)

「ロメワン®」の製品概要

製品名：ロメワン®

成分・分量：本剤1 mL 塩酸ロメフロキサシン 3.31mg (ロメフロキサシンとして3 mg) を含有する。

効能・効果：

有効菌種；本剤感性の *Staphylococcus intermedius*、*Streptococcus canis*、*Pseudomonas aeruginosa*

適応症；犬：細菌性の結膜炎、角膜炎、眼瞼炎及び麦粒腫

用法・用量：1回1～2滴、1日3回点眼する。

規制区分：指定医薬品、要指示医薬品

使用期限：製造後3年間

包装：5 mL×10

製造：千寿製薬株式会社

販売：大日本住友製薬株式会社

提携：アボット ジャパン株式会社

以上